平成26年度 高松市病院事業決算の概要

病院局

現金・預金(年度末)

平成26年度高松市病院事業決算の概要



782

1 収益的収支(税抜)、現金・預金の状況

(単位:百万円)

133

\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\						
	区分	市民病院	塩江分院	香川診療所	全体	
	医業収益	4, 971	631	228	5, 830	
	うち一般会計負担金	208	0	0	208	
収	医業外収益	985	223	91	1, 299	
益	うち一般会計負担金	814	210	87	1, 110	
	附带事業収益	0	21	0	21	
	特別利益	1	0	2	3	
収益	合計	5, 957	875	321	7, 153	
	医業費用	6, 059	790	294	7, 142	
	医業外費用	170	22	7	199	
用	附带事業費用	0	26	0	26	
	特別損失	3, 173	514	154	3, 842	
費用	自合計	9, 402	1, 352	455	11, 209	
純損益		Δ3, 445	△477	△134	Δ4, 056	
経常損益		Δ273	37	17	Δ218	
※端数処理の関係で、各病院・診療所の合計は、全体と一致しない場合がある。						

382

267



2-1 市民病院の収益的収支の前年度比較

(単位:百万円)

区 分		収 益			費用		差 引		
	H26	H25	差引	H26	H25	差引	H26	H25	差引
収益的収支A	5,957	6,208	△251	9,402	6,204	3,198	△3,445	4	△3,449
会計制度改 正影響分 B	136	_	136	2,774	_	2,774	Δ2,638	_	Δ2,638
旧会計制度で の収益的収支 C=A-B	5,821	6,208	Δ387	6,628	6,204	424	△807	4	△811
一般会計負 担金及び退職 給付金	1,022	1,026	Δ4	328	118	210	694	908	△214
Cにおける 実質収支 D	4,799	5,182	Δ383	6,300	6,086	214	Δ1,501	Δ904	△597

△5億97百万円の主な理由

外的要因 1億25百万円

給与改定等 80百万円 消費増税 45百万円

その他 4億72百万円

医業収益減 3億73百万円 減価償却費 37百万円 人員増等 34百万円 など



2-2 給与費・医業収益・消費増税の状況等

(単位:百万円)

	区分	H26	H25	差引増減
給与費		4, 057	3, 733	324
	(職員数:人)	392	378	14
	うち退職給付金	328	118	210
	(退職者数:人)	34	22	12
	うち給与改定等影響分	約80	_	約80
費用総計		6, 628	6, 204	424
医第	美収益	4, 971	5, 344	△373

※H26の給与費や退職給付金は、旧会計制度の基準で算定しており、賞与引当や退職給付引当を含んでいる。 (単位:%)

区分	H26	H25	差引増減
費用に占める給与費の割合	61. 2	60. 2	1. 0
給与費対医業収益比率	81. 6	69. 9	11. 7

※給与費対医業収益比率は、総務省の地方公営企業年鑑での算定式を用いていない。

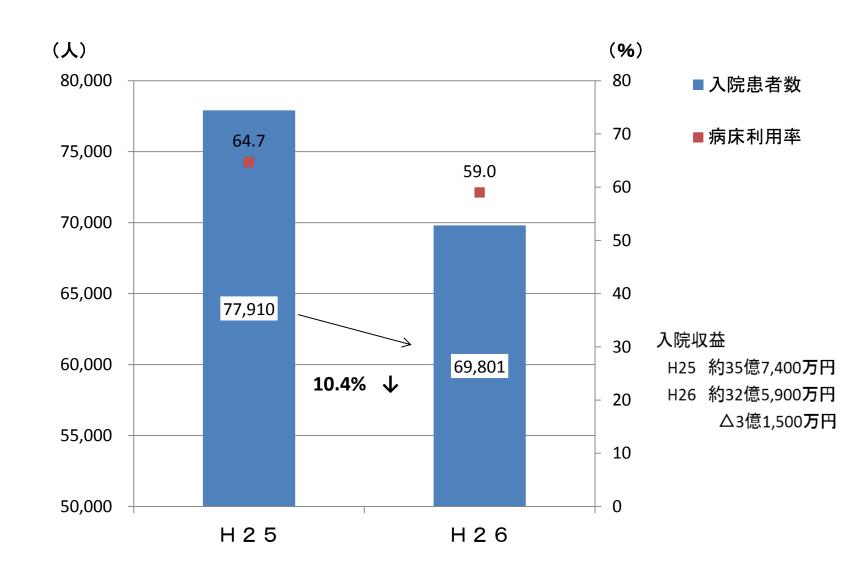
(単位:百万円)

区分	H26	H25	差引増減	
消費増税の影響額(収益的収支)	45	_	45	

※消費税は、費用総計に含んでいる。

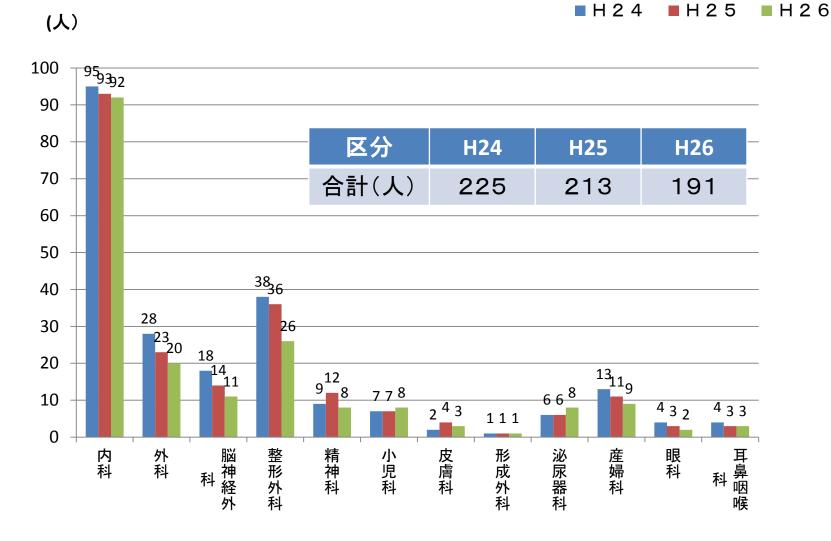


3-1 入院患者数と病床利用率(一般病床311床)





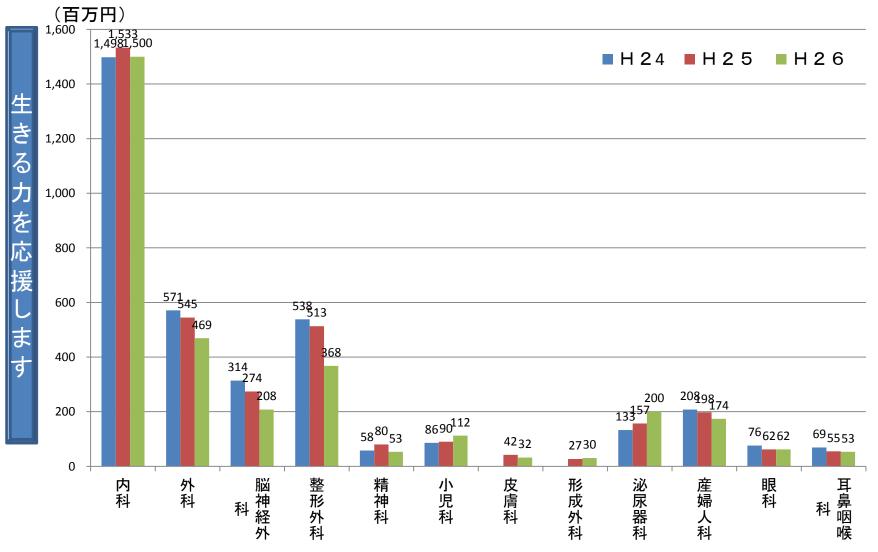
3-2 診療科別1日当たり入院患者数の推移



※放射線科、麻酔科等は計上していない。



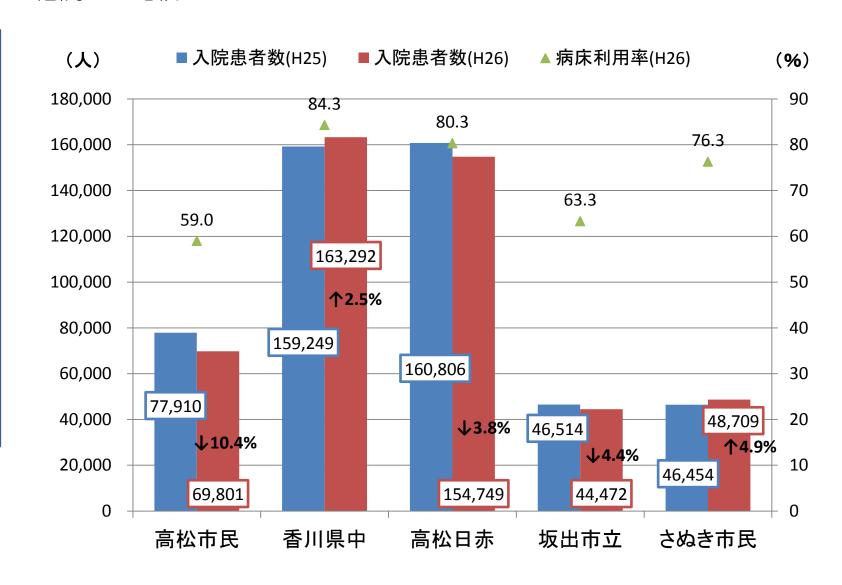
3-3 診療科別入院収益の推移



※放射線科、麻酔科等は計上していない。

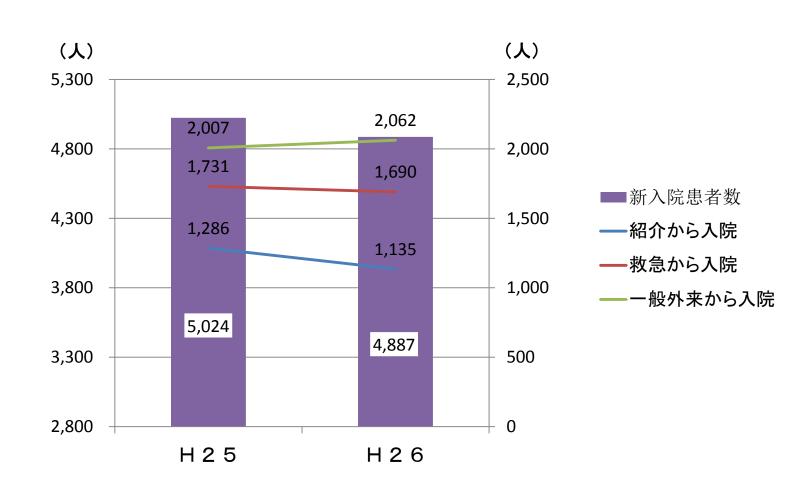


4 他院との比較





5 新入院患者数と入院経路別入院数



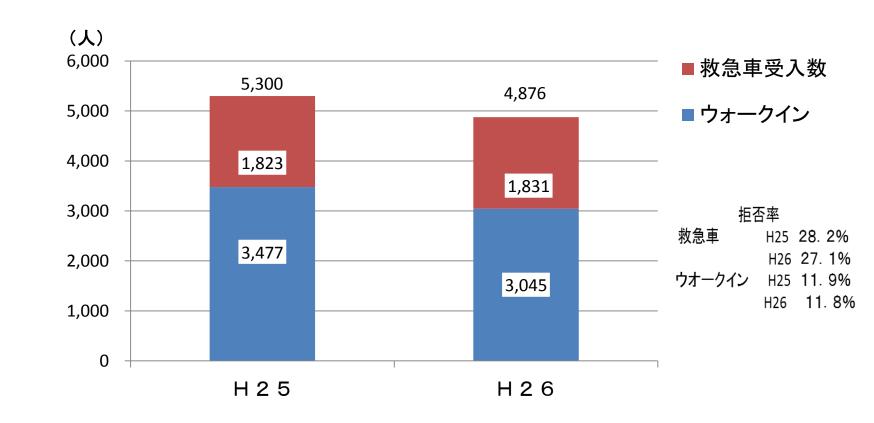
H26の紹介入院患者をH25並みに増やした場合 151人×13.6日(平均在院日数)×46,700円(単価)=約9,600万円

生きる力を応援します

平成26年度高松市病院事業市民病院決算の概要



6 救急患者数

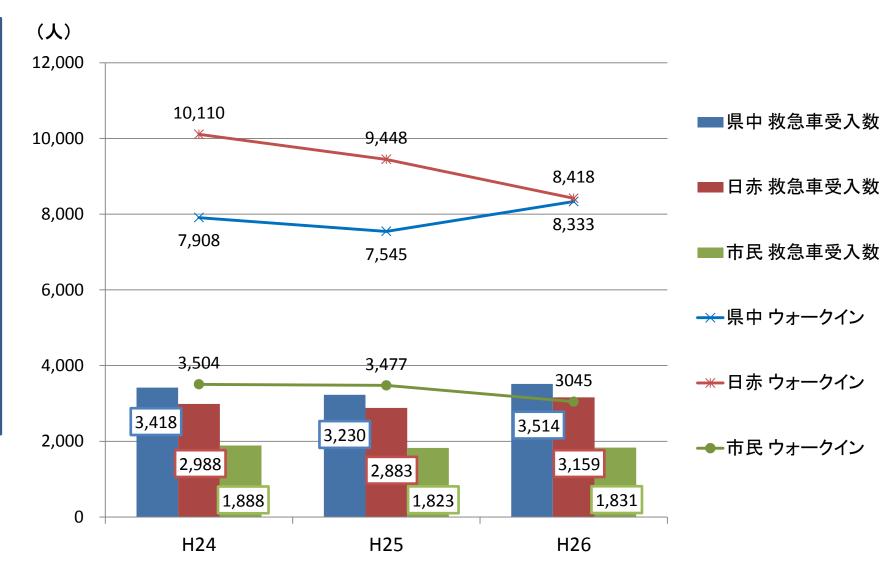


救急車拒否率の低減による入院患者増 27.1%→18%(全国平均) 2,512人(救急車依頼件数)×9.1%×0.6(入院率)×13.6日×46,700円=約8,700万円

ウオークイン拒否率の低減による入院患者増 11.8%→5.9%(半減) 3,452人(ウオークイン来院者数)×5.9%×0.6(入院率)×13.6日×46,700円=約7,800万円

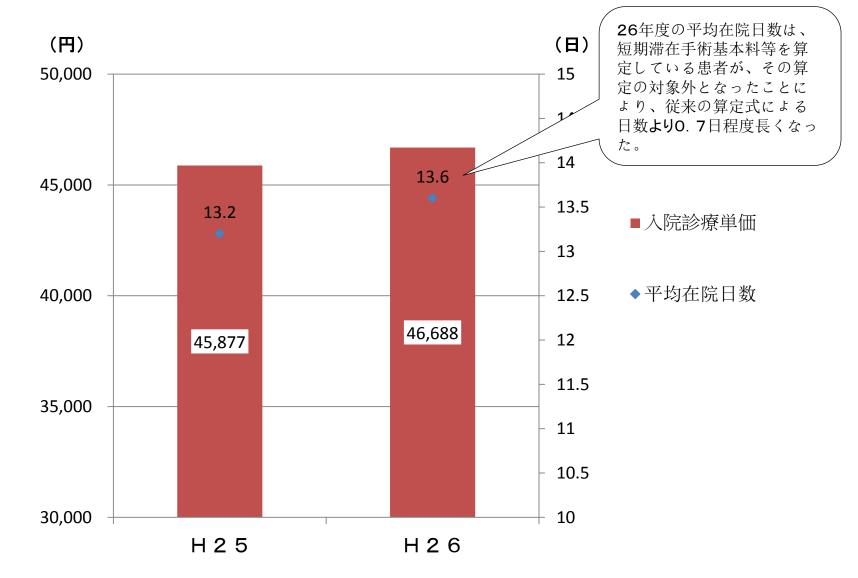


7 救急患者数の他院との比較

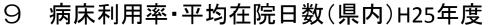


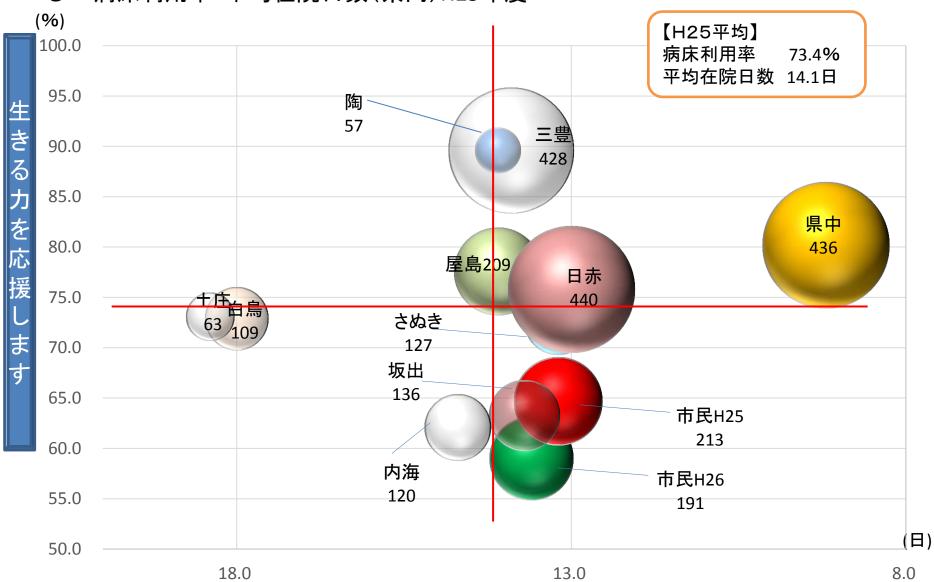


8 入院診療単価と平均在院日数







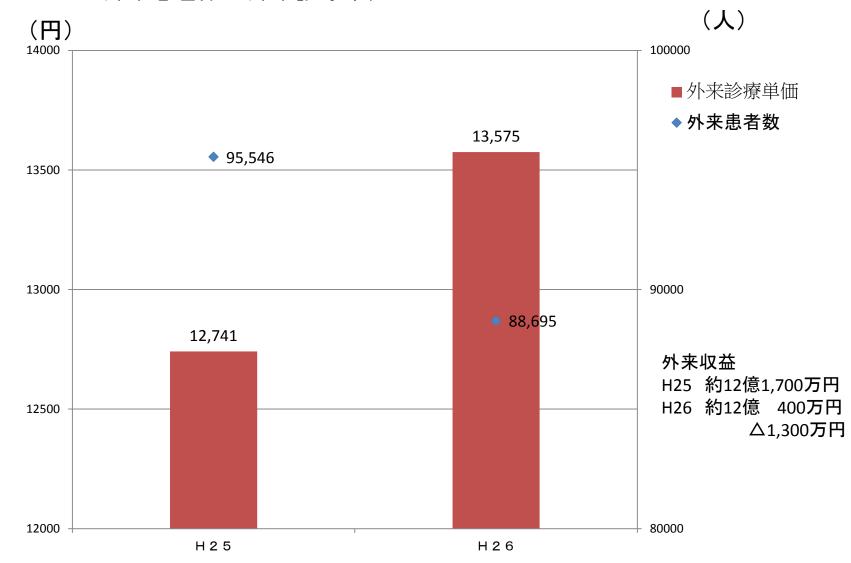


生きる力を応援します

平成26年度高松市病院事業市民病院決算の概要



10-1 外来患者数と外来診療単価





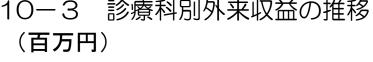
10-2 診療科別1日当たり外来患者数の推移 (人)

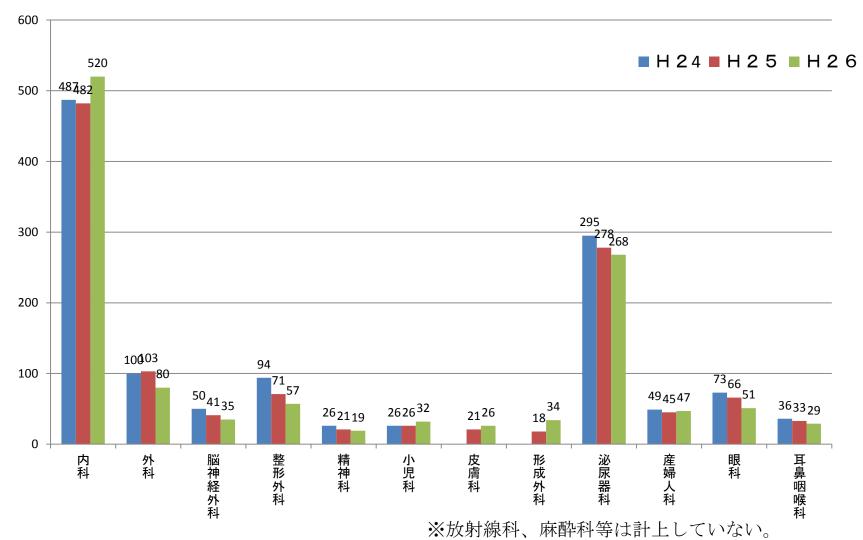
■ H 2 4 ■ H 2 5 ■ H 2 6 140 128 120 区分 **H24 H25 H26** 110 100 合計(人) 533 392 364 100 80 64 59 60 5148 43 35 32 40 32 31 ²⁹27₂₄ ²⁷₂₄₂₂ 25 2422 22 18₁₆ 2325 20 20 5 6 7 形成外科 泌尿器科 眼科 精神科 小児科 外科 耳鼻咽喉科 脳神経外科 整形外科 産婦人科

※放射線科、麻酔科等は計上していない。



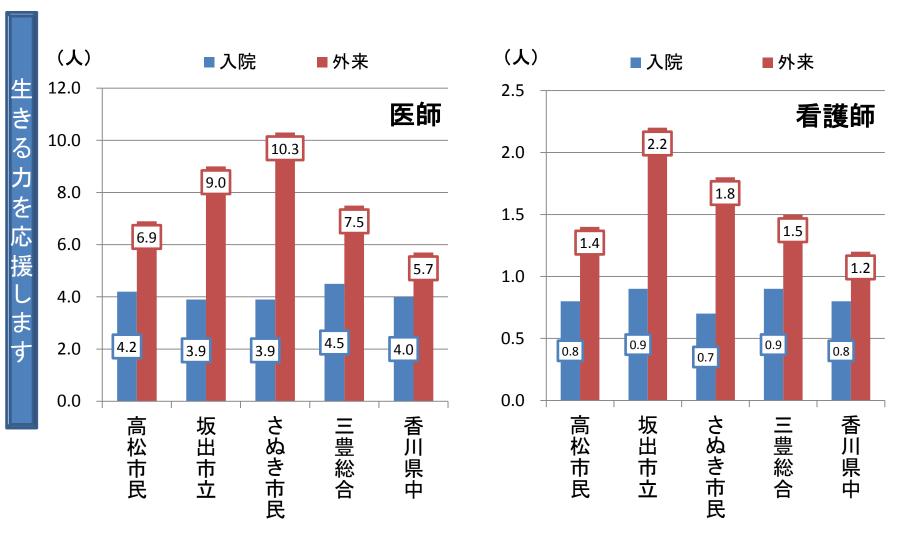
10-3 診療科別外来収益の推移







11 医師・看護師一人当たり患者数(H25)の比較



※ 総務省の地方公営企業年鑑(H25)より



(単位:百万円)

12 資金(現金・預金)の状況

● H27/下半期の資金の見込み

区分	H27/10	H27/11	H27/12	H28/1	H28/2	H28/3
資金収入総額	458	405	533	442	421	1, 435
資金支出総額	535	502	829	920	512	1, 097
月末資金残高	97	0. 4	Δ296	Δ774	Δ865	Δ526

最大一時借入金:7億円

【患者見込数(平成27年6月~平成28年3月)】平成27年4月及び5月分の対前年比を乗じて算出 【一人当たりの診療単価】4月例月分

【給与】26人勧の改定率0.3%と同様の勧告があったと仮定して算出

【時間外勤務手当】時間外勤務手当等について、人勧改定率0.3%を加味

【期末勤勉手当】26人勧の引上げO. 15か月分を加味

【退職手当】昨年度退職者並みで積算

※△526百万円をOにするためには、1日当たり入院患者数を、今後 5億2,600万円÷275日÷46,700円=約41人増やす必要がある。

拒否率

救急車 H25 28.2% H26 27.1% ウオークイン H25 11.9% H26 11.8%

- 外来収益
- H25 約12億1,700万円
- H26 約12億 400万円
- △1,300万円

入院収益

H25 約35億7,400万円 H26 約32億5,900万円 △3億1,500万円

紹介からの入院患者増 151人×0.6(入院率)×13.6日×46,700円(単価)=約5,800万円

救急車拒否率の低減による入院患者増 27.1%→18%(全国平均) 2,512人×9.1%×0.6(入院率)×13.6日×46,700円(単価)=約8,700万円

ウオークイン拒否率の低減による入院患者増 11.8%→5.9%(半減) 3,452人×5.9%×0.6(入院率)×13.6日×46,700円(単価)=約7,800万円 △526を0にするためには

5億2,600万円÷365日÷13.6日÷46,700円=約2.3人(1日当たり入院患者数)増